

TOWN TOPICS

まちの話題

第40回記念 東和ロードレース大会～約3700人が出場しか走～

40年の節目を迎えた大会は7月5日、下太田小学校前ゲートをスタート・ゴールに開催され、全国から約3,700人のランナーが出場し、見頃を迎えた紫陽花ロードを力走しました。

今回は、スペシャルゲストのメキシコ五輪銀メダリスト君原健二さんが10km部を力走。また、ゲストランナーの2007世界陸上女子マラソン日本代表の橋本康子選手(本宮市出身)が小学生の部を伴走し、沿道からは大勢の観衆が声援を送りました。

大会運営には、大勢の市民ボランティアの方々に、給水所での果物配布やコース誘導などのご協力をいただきました。また、40回大会を記念して、陸上自衛隊福島駐屯地音楽隊の皆さんがスタート地点での演奏を披露し、大会を賑やかに盛り上げていただきました。



▲一般の部10kmスタート



▲開会式での選手宣誓



▲ウォークの部スタート



▲女王コンテスト



▲選手を激励する東和太鼓



▲小学生を伴走する橋本選手



まちの話題 TOWN TOPICS



いわしろ路で健脚競う！ ～第20回岩代ロードレース大会～

第20回岩代ロードレース大会が、6月28日に岩代公民館をスタート・ゴールに最長5kmまでのコースを、小・中学生、一般市民ら394名が参加して開催されました。

夏空のロードレース日和に恵まれ、親子の部1kmを皮切りに23部門で健脚を競いあった結果、高校女子・小学5年男子・小学6年男子・高校男子の部で4つの大会新記録が生まれました。

ようこそ二本松市へ ～JICAボランティアを暖かく歓迎～

7月8日、にほんまつ地球市民の会の幹事が二本松駅にて、JICA二本松訓練所に入所するために全国各地から集合した平成21年度JICAボランティア第2次隊の出迎えを行いました。

ボランティアの皆さんが電車から降りてくるたびに『ようこそ二本松市へ』の横断幕で歓迎し、訓練所行きの路線バスを待つ間には、二本松市のPRや訓練所での生活などについて懇談し交流を深めました。

第2次隊は、今後2ヶ月あまり語学等の訓練を重ね、それぞれの派遣国に赴任することになります。



にほんまつ地球市民の会は、JICA二本松訓練所の開設を契機に訓練所のあるまちとしてJICA支援、国際協力活動を行うため平成6年に設立されました。地球市民の会では随時会員を募集していますので、希望される方はぜひ事務局までご連絡ください。(年会費：個人2千円、団体1万円)

◎問い合わせ・申し込み…にほんまつ地球市民の会事務局(企画財政課内) ☎(55)5090

ビームライフルに挑戦！ ～子どもスポーツ教室～

市体育指導委員会と各地域総合型スポーツクラブでは、毎年小学生を対象としたスポーツ教室を開催しています。今年は7月4日、二本松市総合射撃場でビームライフル教室を開催し、二本松・安達地域の児童36人が参加しました。

県ライフル協会講師の指導のもと、ビームライフル初体験の子ども達は、真剣なまなざしで10m先の的に狙いを定めて引き金を引き、10点満点が出る度に大きな歓声があがりました。未来の国体選手輩出が期待されます。

